

平成26年3月25日

大阪府自殺対策審議会

保健所における自殺未遂者支援

～四條畷保健所における個別支援から
ネットワーク構築に向けた取り組みの現状～

大阪府四條畷保健所

平成25年度の自殺対策の取り組み

- ① 精神保健福祉相談における自殺関連相談
- ② 自殺未遂者相談支援事業
- ③ スキルアップ勉強会事業
- ④ 自殺予防相談支援事業
- ⑤ ネットワーク推進会議事業

① 精神保健福祉相談における 自殺関連相談（平成25年4月～12月）

年齢区分	相談実数	相談延数	訪問実数	訪問延数	相談・訪問延数計
0～19歳	0	0	0	0	0
20～39歳	8	37	2	14	51
40～64歳	9	151	4	29	180
65歳以上	0	0	0	0	0
計	17	188	6	43	231

このうち、自死遺族の相談実数は1件で、他は強い希死念慮、あるいは自殺未遂についての相談であった。

（参考）精神保健福祉相談 相談実数270名、延べ数1454回
（H25年4月～12月） 訪問実数108名、延べ数341回

② 自殺未遂者相談支援事業

目的

警察署の協力により、同意のあった自殺未遂者や家族に対しての支援の充実を目指す。

対象

警察署で取扱いのあった自殺未遂者とその家族で同意のあった者。

内容

- ・未遂者及びその家族への相談支援の実施。
- ・警察署との更なる連携を図る（ネットワーク会議の活用）
- ・事例検討会を通じて、関係機関職員も含め、相談スキルの向上を目指す。

② 自殺未遂者相談支援事業

<警察からの情報提供>

平成25年1月～3月・・・6件

平成25年4月～12月・・・7件

<内訳>

相談者⇒本人7件、家族5件、本人・家族1件

性別⇒男性4名、女性10名

原因・動機⇒家庭問題4件、健康問題4件、
経済・生活問題3件、学校問題1件、
その他3件

② 自殺未遂者相談支援事業

<主な特徴>

- ① 経済問題など、未遂に至る理由がはっきりしており、背景に精神疾患がない
- ② 精神科に通院していて、未遂を繰り返している

<対応>

- ①の場合⇒問題の解決策を探り、必要な機関に同伴して丁寧につなぐ
- ②の場合⇒通院機関、既に支援している機関と連携し、本人を支えるネットワークを構築する

③ スキルアップ勉強会事業

目的

勉強会を通じて関係機関職員のスキルアップを図り、相談支援体制の強化を図る。

対象

管内で自殺関連の相談を受ける可能性のある関係機関の職員。(市の関係窓口職員・障がい者相談支援事業所・精神障がい者支援事業所・コミュニティーソーシャルワーカー・地域包括支援センター等)

内容

自殺に関連の高い問題についての講義を聞き、模擬事例を使ってグループワークを実施する参加型勉強会の実施。

③ スキルアップ勉強会事業

- ・ 「生きづらさを抱えている人の自殺予防
～こころにトラウマを抱えた人への支援について～」
講師 兵庫県こころのケアセンター 亀岡智美医師
受講者 34名
- ・ 「多重債務による自殺を予防するために
～多重債務の実態と支援について～」
講師 大阪司法書士会 吉田史氏
受講者 13名
- ・ 「高齢者と自殺 ～高齢者のこころと健康と支援について～」
講師 石田クリニック 石田徹医師
受講者 20名

④ 自殺予防相談支援事業

目的

自殺を考えている人、自殺未遂者や自死遺族等の相談の充実を図る。

対象

管内住民

内容

専門職の非常勤職員を雇用し、専門電話相談に応じる。（9月から実施）

⑤ ネットワーク推進会議事業

目的

自殺の原因となる複数の問題に重層的に対応できるように、精神保健医療についての広域的なネットワーク推進会議を立ち上げる。

対象

医師会・歯科医師会・薬剤師会
精神科医療機関・二次救急医療機関
警察・消防・市自殺対策担当課

内容

9月に、警察・市町村担当課の担当者会議を開催し、1月に、上記対象機関の長レベルの会議を実施した。

⑤ ネットワーク推進会議事業

- 自殺未遂者支援関連担当者連絡会

参加機関(四條畷警察署・交野警察署生活安全課
大東市・四條畷市・交野市の自殺対策担当課、
こころの健康総合センター、保健所) 計10名

- 自殺未遂者相談支援事業の経過報告
- 自殺対策におけるネットワークの構築について
- 各警察署の自殺未遂者支援の状況
- 各市のゲートキーパー研修について
- 各市の庁内ネットワーク会議について
- 各市の自殺未遂者支援の状況

⑤ ネットワーク推進会議事業

・ 精神保健医療ネットワーク会議（長会議）

＜構成機関＞

大東四條畷医師会・交野市医師会・大東歯科医師会
交野市歯科医師会・北河内薬剤師会・阪奈サナトリウム
くすの木クリニック・森クリニック・皆川クリニック
ながお心療内科・さくらクリニック・野崎徳洲会病院
畷生会脳神経外科病院・交野病院・四條畷警察・交野警察
大東市消防・四條畷市消防・交野市消防
大東市保健医療部・四條畷市健康福祉部・交野市福祉部

＜内容＞ ○四條畷保健所における自殺対策について
○意見交換

保健所の特徴を生かした 自殺対策について

＜未遂者支援＞

- 日常的に精神保健福祉相談を実施していること中で、希死念慮や、未遂についての相談にのることが多い。
- 医療・保健・福祉にまたがる幅広い相談を行う機関であるため、自殺未遂に関わるあらゆる問題に対応しやすい。
- 精神科医師・精神保健福祉相談員・保健師・心理士などの職種がいるため、多職種による連携がとりやすい。
- 精神保健福祉相談にのる業務を行っていることにより、医療・福祉・教育・就労等に関する情報を持っており、またこれらの関係機関と日常的に連携ができている。

保健所の特徴を生かした 自殺対策について

＜ネットワークの構築＞

- 自殺の原因は様々であるが、特に精神科疾患とは関連が深いと考えられる。そのため、精神保健福祉に関わる行政機関として保健所が持つ既存のネットワークを生かすことができる。
- また、精神保健福祉にかかわる業務以外に、公衆衛生に関わる様々な業務を行っていることにより、日常的に医療・衛生・福祉・教育・就労等関係機関を多く持っている。このことにより、ネットワークの構築の中心的役割を担いやすい。

保健所の自殺対策の目指すもの

○関係機関と連携し、重層的な対策の実施

- スキルアップ勉強会
 - ⇒ 市の実施するゲートキーパー研修(主に、市民・民生委員・市職員対象)との連携
- 精神保健医療ネットワーク会議
 - ⇒ 市で実施する生活支援ネットワーク・地域の住民組織(ゲートキーパー)との連携



府・市・民間機関が協力して、府民が健康で生きがいを持って暮らすことのできる社会を実現する